

平成20年8月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年1月15日

上場会社名 株式会社鉄人化計画 上場取引所 東証マザーズ  
 コード番号 2404 URL <http://www.tetsujin.ne.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日野 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 浦野 敏男 TEL (03) 5773-9184

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年8月期第1四半期の連結業績 (平成19年9月1日 ~ 平成19年11月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月期第1四半期	1,580	1.4	△11	-	△20	-	△65	-
19年8月期第1四半期	1,558	23.3	△92	-	△109	-	△94	-
19年8月期	6,840	-	413	-	364	-	55	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年8月期第1四半期	△1,969	38	-	-
19年8月期第1四半期	△2,860	34	-	-
19年8月期	1,665	66	1,656	34

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年8月期第1四半期	5,747		1,459		25.4		44,125	97
19年8月期第1四半期	5,756		1,385		24.1		41,908	41
19年8月期	5,676		1,539		27.1		46,564	07

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年8月期第1四半期	△96		△186		253		927	
19年8月期第1四半期	△21		△121		△88		724	
19年8月期	875		△312		△561		956	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年8月期	-	-	500	00	500	00
20年8月期	-	-	-	-	500	00
20年8月期(予想)	-	-	500	00	500	00

3. 平成20年8月期の連結業績予想 (平成19年9月1日 ~ 平成20年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	3,497	2.7	266	55.9	239	68.5	20	△34.9	628	77
通期	7,100	3.8	512	24.0	458	25.7	104	89.9	3,163	67

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
 (2) 四半期連結財務諸表の作成基準 : 中間連結財務諸表作成基準  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 (4) 会計監査人の関与 : 有

四半期財務諸表については、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則の取扱い」の別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づく意見表明のための手続きを受けております。

#### 5. 個別業績の概要（平成19年9月1日～平成19年11月30日）

##### (1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月期第1四半期	1,352	4.5	△18	—	△24	—	△62	—
19年8月期第1四半期	1,294	8.6	△85	—	△94	—	△73	—
19年8月期	5,860	—	389	—	360	—	95	—

	1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭
20年8月期第1四半期	△1,899	40
19年8月期第1四半期	△2,225	27
19年8月期	2,902	69

##### (2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年8月期第1四半期	5,584		1,527		27.3		46,182	25
19年8月期第1四半期	5,590		1,432		25.6		43,329	46
19年8月期	5,524		1,605		29.1		48,554	28

#### 6. 平成20年8月期の個別業績予想（平成19年9月1日～平成20年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	3,020	4.4	236	44.3	212	44.8	20	△60.3	628	13
通期	6,167	5.2	462	18.8	415	15.2	122	27.4	3,698	35

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の6ページ「3. 業績予想に関する定性的情報」を参照して下さい。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が増加し雇用情勢が改善に向かうなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国サブプライムローン問題の影響による株価下落や厳格になった改正建築基準法の影響による建築着工件数の減少、ガソリン・灯油・小麦等の価格高騰による家計負担への圧迫など、景気は減速気味の状況となっております。

当社グループが主力事業を展開するカラオケルーム業界におきましては、2006年のカラオケ参加人口が約4,290万人と推計され微減傾向となっておりますが、市場規模は4,360億円（前年比3.6%増）となりました。（レジャー白書2007）なお、2007年1月に起きたカラオケ店舗の火災事件を契機にカラオケ施設の法令遵守状況の正常化への取り組みや新たに自動火災報知機の設置義務付けなどが進められております。

こうした状況の下、大手カラオケチェーン店は、お客様の信頼回復のため、引続き、法令遵守の徹底・強化を図る一方、安心してお客様にご利用して頂ける店舗づくりを進め、また、既存店のブラッシュアップに注力し、フードメニューの刷新や社員教育の徹底と接客サービスの強化等の集客増に向けた取り組みを積極的に実施するとともに内部体制を強化するなど事業の効率化に取り組んでおります。また、スクラップ&ビルドもしくは既存店のリニューアルや飲食店舗との複合化などの積極的な取り組みを行っております。

ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業におきましては、ビリヤード業界は依然として低迷から回復の兆候が見えずにおり、ダーツ業界は、デジタルダーツ遊技機の高い人気が続いておりますが、同機器の供給が増えたため、バースタイルの小型店舗を中心に出店が目立つようになり、需給バランスから業績の下降が見られるようになりました。

まんが喫茶（複合カフェ）業界におきましては、当業界への参入障壁の低さから新規出店が加速し、市場規模が2,000億円に迫る勢いで成長を続けておりますが、ここにきて出店ペースが急激に落ち、成熟期に入ったとの見方も出てきており、今後はスクラップ&ビルドもしくは企業のM&Aが徐々に進んでいくものと思われれます。各企業は、更なるコンテンツの多様化や新たな業態との複合化の研究を進めるなど、お客様のニーズに対応した取り組みが求められており、当業界における競争は更に激化しております。また、ネット犯罪の現場として店舗を利用する、またワーキングブアなる利用実態が社会で取り上げられ、「ネットカフェ難民」という言葉が流行語大賞にノミネートされるなど更に注目を浴びるなど社会問題視化され、宿泊客の多い駅前型店舗は多少なりとも影響を受けております。これらによる風評被害が実害として発生しており、日本複合カフェ協会が声明を発表する等深刻な問題に発展しております。

フルサービス型珈琲ショップを運営する喫茶業界におきましては、運営する形態によりコーヒーショップ（更に、高価格型、低価格型、多毛作型に分類される）と喫茶店・コーヒー専門店に分類され、その市場規模は2006年において約1兆524億円（外食産業統計資料集）で前年比5%減と推計されております。コーヒーショップはセルフサービス型の店舗が多く、市場全体に対し店舗数で約3%、市場規模で約22%程度であり、近年ではコーヒー中心の提供からフードを充実させた展開を図っており、市場規模は微増傾向にあります。喫茶店・コーヒー専門店は、店舗数・市場規模で全体の大部分を占めておりますが、いずれも長期的に減少傾向にあります。

音源販売におけるモバイル・コンテンツ業界におきましては、2006年の市場規模が約3,661億円（前年比16%増）と推計され、その主なものは着信メロディー843億円（前年比20%減）、着うた<sup>®</sup>系759億円（前年比35%増）、モバイルゲーム748億円（前年比27%増）となっております。新たに、デコメールと呼ばれる装飾メール市場で55億円、電子書籍市場で69億円と100億円に満たない規模ではありますが、いずれも前年比400%近い伸びを示しており、今後の拡大が期待されております。基本的要因でありますプラットフォームの状況は、携帯電話契約数の80%が第3世代端末となり、同時に定額制ユーザーも全体の30%を超える環境となりました。これに伴いリッチコンテンツの市場は新しいサービスの立ち上げも見込めるため、今後も拡大していくものと考えられます。着信メロディーに関しては、着信音の利用スタイルが大幅に変化したことで、モバイル・コンテンツサービスのユーザーニーズに劇的な変化が起こっております。（ケータイ白書2008）

このような経済情勢及び業界動向にあって、当社グループは、主力事業でありますカラオケルーム運営事業に注力し、鉄人システム向けの新たなコンテンツの開発・制作を進めるとともに、首都圏でのシェア拡大を図るため、中小規模店舗対応の鉄人システム（ミニ鉄人システム）を設備したカラオケ店舗（20ルーム前後の規模）の出店に積極的に取り組みました。その他、店舗運営事業全般におきまして、お客様の目線に立ったサービスの見直しに取り組みました。

また、前期より開始いたしましたモバイルコンテンツのASPサービス※や商業サイト向け着信メロディ、着うた<sup>®</sup>等の供給サービス事業を積極的に推進いたしました。

※ASPサービスとは、業務用アプリケーションソフトをインターネットを利用して、顧客にレンタルするサービスをいいます。

（注）「着うた<sup>®</sup>」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標であります。

なお、当社グループは、「固定資産の減損に係る会計基準」を適用していることから、カラオケ1店舗のフロア縮小と複合カフェ1店舗の閉店を決定したことにより減損会計が適用され、当社グループが所有する固定資産について減損損失を44百万円計上いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高1,580百万円（前年同期比1.4%増）、経常損失20百万円（前年同期経常損失109百万円）、第1四半期純損失65百万円（前年同期四半期純損失94百万円）となり、前年同期に比べ改善いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

#### （カラオケルーム運営事業）

当事業におきましては、ミニ鉄人システムを設備したカラオケ店舗1店（「カラオケの鉄人大井町店」）の新規出店を実施し、当第1四半期連結会計期間末の直営店は31店舗となりました。また、収益性を改善すべく店舗の改装1店舗（「カラオケの鉄人大宮店」）を実施いたしました。

営業面におきましては、比較可能な既存店※の売上高は、前年同期比97.7%となりましたが、ミニ鉄人システムを設備した中型店舗の業績が引続き好調に推移いたしました。また、独自のQMSC（Qクオリティ&Mメンテナンス：設備の品質、Sサービス：おもてなし、Cクレンリネス：清潔な環境）を実践するモデル店舗を設定し、お客様目線に立ったサービスの確立に取り組みました。

設備面におきましては、鉄人システムの「カラ鉄NAV I」をバージョンアップし、楽曲のサビ部分の試聴機能など、新たなコンテンツのサービスを開始いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は1,168百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は83百万円（前年同期比149.9%増）となりました。

※比較可能な既存店とは、営業開始後12ヶ月を経過して営業を営んでいる店舗で前年対比が可能なものをいいます。

#### （ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業）

当事業におきましては、近隣におけるバースタイル業態での競合店の出店が増加したことを受け、引続き人気の高いデジタルダーツ遊技機に加え、アミューズメント遊技機を増設するなどアミューズメント性を強調した店舗運営を行ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は101百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は21百万円（前年同期比202.7%増）となりました。

#### （まんが喫茶（複合カフェ）運営事業）

当事業におきましては、当社グループの出店地域における競合店の多数出店による影響で、引続き競争が激化しており業績は伸び悩んでおります。

営業面におきましては、店舗の鮮度を演出するにあたり毎月全店舗においてイベントを実施するとともに、コミックの充実や本棚のレイアウトの変更及びコミック検索機能の充実など、お客様の利便性に配慮した運営を行ってまいりました。なお、業績の改善が困難と判断し、1店舗（千葉中央店）の閉店を決定いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は95百万円（前年同期比18.0%減）、営業利益は3百万円（前年同期営業損失12百万円）となりました。

#### （フルサービス型珈琲ショップ運営事業）

当事業におきましては、京阪神地区において「からふね屋珈琲店」の屋号でフルサービス型珈琲ショップ11店舗の運営を行ってまいりました。

営業面におきましては、一部の店舗におきまして、新商品であるパフェメニューを導入し、100種類以上のバリエーションでのサービスを開始いたしました。また、新店戦略として京都の中心繁華街に「からふね屋珈琲店・本店」の名称で12店舗目を開店することを決定いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は126百万円（前年同期比6.8%増）、営業損失は2百万円（前年同期営業損失10百万円）となりました。

#### （音響設備販売事業）

当事業におきましては、カラオケ機器及び周辺機器の販売並びに同機器のメンテナンス業務を行ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は64万円（前年同期比29.6%減）、営業損失は5百万円（前年同期営業損失9百万円）となりました。

(音源販売事業)

当事業におきましては、携帯電話用コンテンツプロバイダ向けの着信メロディー・着うた<sup>®</sup>音源の制作及び販売を行いました。また、前連結会計期間より新たなビジネスとして開始いたしましたコンテンツ配信ASPサービスや商業サイト向け着信メロディー、着うた<sup>®</sup>等の供給サービスの拡販に取組んだ結果、多数の企業様にご利用頂くこととなりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は52百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益は1百万円（前年同期営業損失4百万円）となりました。

(その他の事業)

当事業におきましては、「鉄人システム」のレンタルを行いました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は2百万円（前年同期比59.1%減）、営業利益は0.7百万円（前年同期比69.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は5,747百万円となり、前連結会計年度末と比較して70百万円増加しております。主な要因は、前払費用の増加38百万円、新規出店等による有形固定資産及び差入保証金の増加108百万円によるものと、売掛金の減少27百万円、店舗の減損による有形固定資産の減少44百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は4,288百万円となり、前連結会計年度末と比較して151百万円増加しております。主な要因は、長期・短期借入金の増加274百万円によるものと、未払法人税等の減少128百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は1,459百万円となり、前連結会計年度末と比較して80百万円減少しております。主な要因は、利益剰余金の減少81百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、927百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、96百万円となりました。これは主に減価償却費73百万円及び減損損失44百万円があったものの、税金等調整前第1四半期純損失74百万及び法人税等の支払額133百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、186百万円となりました。これは主に新規出店等に伴う有形固定資産の取得126百万円及び店舗入居保証金の差入れによる支出44百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、253百万円となりました。これは主に、借入金による資金調達によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、その事業規模からカラオケルーム運営事業に大きく依存しております。カラオケルーム運営事業は、忘年会等が行われる時期を含む第2四半期と歓送迎会等が行われる時期を含む第3四半期に売上が偏重する傾向があります。したがって、四半期及び半期の業績が必ずしも通期の業績に連動するとは限りません。

以上のことを踏まえまして、平成20年8月期の業績予測につきましては、以下のとおりであります。

カラオケルーム運営事業におきましては、ミニ鉄人システムを設備する中小規模カラオケ店舗の業績が引続き好調であることと一部を除く既存店の業績が回復基調にあること及び店舗の改装や規模縮小等に伴う特別損失をある程度織り込んでいることから概ね予定通りの業績推移を見込んでおります。

ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業及びまんが喫茶（複合カフェ）運営事業におきましては、競合店の出店が顕著であるため今後の競合店の出店状況においては、業績予想に影響を与える懸念があります。なお、当第1四半期連結会計期間においてまんが喫茶1店舗の閉店を決定しましたが業績予想に影響はありません。

フルサービス型珈琲ショップ運営事業におきましては、新商品として100種類以上のバリエーションでのパフェメニューを導入し、サービスを開始いたしました。また、新店戦略として京都の中心繁華街に「からふね屋珈琲店・本店」の名称で12店舗目を開店いたします。

その他、音響設備販売事業、音源販売事業及びその他の事業におきましては、概ね予定通りの業績推移を見込んでおります。

以上の状況により、現時点における当期の業績見通しは、平成19年10月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

		平成19年8月期 第1四半期連結会計期間末 (平成18年11月30日現在)		平成20年8月期 第1四半期連結会計期間末 (平成19年11月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年8月31日現在)	
科目	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	※2	829,983		1,037,443		1,045,310	
2 受取手形及び売掛金		109,902		88,731		103,926	
3 たな卸資産		81,595		79,133		74,742	
4 その他		301,018		267,329		225,936	
貸倒引当金		△710		—		△79	
流動資産合計		1,321,790	23.0	1,472,637	25.6	1,449,837	25.5
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物	※1	1,858,031		1,858,564		1,840,292	
(2) 工具器具備品	※1	322,108		269,248		260,561	
(3) その他	※1	373,510		367,295		372,915	
有形固定資産合計		2,553,650	44.3	2,495,108	43.4	2,473,768	43.6
2 無形固定資産							
(1) のれん		485,419		426,745		441,413	
(2) その他		65,757		60,046		63,780	
無形固定資産合計		551,176	9.6	486,792	8.5	505,194	8.9
3 投資その他の資産							
(1) 差入保証金	※2	1,033,799		1,057,269		1,014,677	
(2) その他		296,055		236,532		234,194	
貸倒引当金		—		△696		△696	
投資その他の資産合計		1,329,855	23.1	1,293,105	22.5	1,248,175	22.0
固定資産合計		4,434,682	77.0	4,275,006	74.4	4,227,138	74.5
資産合計		5,756,472	100.0	5,747,643	100.0	5,676,975	100.0

科目	注記 番号	平成19年8月期 第1四半期連結会計期間末 (平成18年11月30日現在)		平成20年8月期 第1四半期連結会計期間末 (平成19年11月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年8月31日現在)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)							
I 流動負債							
1 買掛金		126,674		130,694		157,992	
2 短期借入金	※2	—		410,001		210,000	
3 一年以内返済予定長期借入金	※2	1,168,371		1,184,799		1,138,881	
4 一年以内償還予定社債		110,000		330,000		310,000	
5 未払金		41,857		151,043		128,217	
6 未払費用		311,161		325,437		263,774	
7 未払法人税等		12,878		14,703		143,453	
8 設備支払手形		652		—		—	
9 賞与引当金		9,580		12,544		9,299	
10 その他	※3	68,335		55,335		92,160	
流動負債合計		1,849,511	32.1	2,614,560	45.5	2,453,778	43.2
II 固定負債							
1 社債		375,000		45,000		75,000	
2 長期借入金	※2	2,030,941		1,506,074		1,477,185	
3 長期未払金		11,474		1,828		3,133	
4 その他		103,886		121,023		128,097	
固定負債合計		2,521,302	43.8	1,673,925	29.1	1,683,416	29.7
負債合計		4,370,813	75.9	4,288,485	74.6	4,137,194	72.9
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金		732,295	12.7	732,394	12.7	732,394	12.9
2 資本剰余金		725,452	12.6	725,552	12.6	725,552	12.8
3 利益剰余金		△70,768	△1.2	△2,775	△0.0	78,882	1.4
株主資本合計		1,386,979	24.1	1,455,171	25.3	1,536,829	27.1
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券評価差額金		△1,320	△0.0	3,985	0.1	2,951	0.0
評価・換算差額等合計		△1,320	△0.0	3,985	0.1	2,951	0.0
純資産合計		1,385,659	24.1	1,459,157	25.4	1,539,780	27.1
負債純資産合計		5,756,472	100.0	5,747,643	100.0	5,676,975	100.0



## (2) 四半期連結損益計算書

		平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日		平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日	
科目	注記 番号	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		1,558,589	100.0	1,580,675	100.0	6,840,231	100.0
II 売上原価		1,439,012	92.3	1,361,926	86.2	5,592,278	81.8
売上総利益		119,577	7.7	218,748	13.8	1,247,952	18.2
III 販売費及び一般管理費	※1	212,576	13.7	229,981	14.5	834,779	12.2
営業利益又は営業損失 (△)		△92,999	△6.0	△11,232	△0.7	413,172	6.0
IV 営業外収益							
1 受取利息		27		206		1,384	
2 受取配当金		—		—		159	
3 受取販売支援金		3,036		3,457		12,701	
4 受取保険金		—		1,082		5,628	
5 受取設備利用料		—		2,284		8,110	
6 その他		2,938		3,918		10,729	
小計		6,001	0.4	10,950	0.7	38,714	0.6
V 営業外費用							
1 支払利息		19,652		19,257		75,184	
2 その他		2,582		1,362		12,205	
小計		22,235	1.4	20,620	1.3	87,390	1.3
経常利益又は経常損失 (△)		△109,233	△7.0	△20,902	△1.3	364,496	5.3
VI 特別損失							
1 固定資産除却損	※2	3,010		9,146		52,506	
2 減損損失	※3	21,515		44,695		88,382	
3 投資有価証券評価損		—		—		2,218	
4 その他		—		—		1,316	
小計		24,526	1.6	53,841	3.4	144,423	2.1
税金等調整前第1四半期純損失 (△) 又は税金等調整前当期純利益		△133,759	△8.6	△74,744	△4.7	220,073	3.2
法人税、住民税及び事業税		8,136	0.5	10,037	0.6	137,056	2.0
法人税等調整額		△47,321	△3.0	△19,658	△1.2	27,939	0.4
第1四半期純損失 (△) 又は当期純利益		△94,574	△6.1	△65,123	△4.1	55,076	0.8

## (3) 四半期連結株主資本等変動計算書

平成19年8月期 第1四半期連結会計期間（自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年8月31日 残高（千円）	732,295	725,452	23,805	1,481,553
当第1四半期連結会計期間中の変動額				
当第1四半期純損失（△）			△94,574	△94,574
株主資本以外の項目の当第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）				
当第1四半期連結会計期間中の変動額合計（千円）	—	—	△94,574	△94,574
平成18年11月30日 残高（千円）	732,295	725,452	△70,768	1,386,979

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年8月31日 残高（千円）	△1,050	△1,050	1,480,503
当第1四半期連結会計期間中の変動額			
当第1四半期純損失（△）			△94,574
株主資本以外の項目の当第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）	△270	△270	△270
当第1四半期連結会計期間中の変動額合計（千円）	△270	△270	△94,844
平成18年11月30日 残高（千円）	△1,320	△1,320	1,385,659

平成20年8月期 第1四半期連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成19年8月31日 残高（千円）	732,394	725,552	78,882	1,536,829
当第1四半期連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当			△16,534	△16,534
当第1四半期純損失（△）			△65,123	△65,123
株主資本以外の項目の当第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）				
当第1四半期連結会計期間中の変動額合計（千円）	—	—	△81,657	△81,657
平成19年11月30日 残高（千円）	732,394	725,552	△2,775	1,455,171

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年8月31日 残高（千円）	2,951	2,951	1,539,780
当第1四半期連結会計期間中の変動額			
剰余金の配当			△16,534
当第1四半期純損失（△）			△65,123
株主資本以外の項目の当第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）	1,034	1,034	1,034
当第1四半期連結会計期間中の変動額合計（千円）	1,034	1,034	△80,623
平成19年11月30日 残高（千円）	3,985	3,985	1,459,157

平成19年8月期 連結会計年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年8月31日 残高（千円）	732,295	725,452	23,805	1,481,553
連結会計年度中の変動額				
ストックオプション行使による 新株の発行	99	99		198
当期純利益			55,076	55,076
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）				
連結会計年度中の変動額合計 （千円）	99	99	55,076	55,275
平成19年8月31日 残高（千円）	732,394	725,552	78,882	1,536,829

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	評価・換算差額等 合計	
平成18年8月31日 残高（千円）	△1,050	△1,050	1,480,503
連結会計年度中の変動額			
ストックオプション行使による 新株の発行			198
当期純利益			55,076
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）	4,001	4,001	4,001
連結会計年度中の変動額合計 （千円）	4,001	4,001	59,276
平成19年8月31日 残高（千円）	2,951	2,951	1,539,780

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日
項目	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前第1四半期純損失(△)又は税金等調整前当期純利益		△133,759	△74,744	220,073
減価償却費		90,405	73,240	377,509
減損損失		21,515	44,695	88,382
のれん償却額		13,001	13,001	52,007
長期前払費用償却		10,578	10,056	42,801
貸倒引当金の増加額又は減少額(△)		△31	△79	33
賞与引当金の増加額		1,072	3,244	791
事業税の資本割及び付加価値割の増加額又は減少額(△)		3,560	△5,722	17,741
受取利息及び受取配当金		△27	△206	△1,543
支払利息及び社債利息		19,652	19,257	75,184
固定資産売却益		△1	—	—
固定資産除却損		386	9,146	52,506
投資有価証券評価損		267	—	2,218
売上債権の減少額		74,278	18,319	72,633
たな卸資産の増加額(△)又は減少額		3,898	△4,390	10,751
その他資産の増加額(△)又は減少額		△7,433	△38,844	8,787
仕入債務の増加額又は減少額(△)		△18,327	34,428	△34,067
その他負債の減少額		△48,863	△45,449	△2,530
小計		30,174	55,954	983,279
利息及び配当金の受取額		27	206	1,543
利息の支払額		△19,211	△19,613	△72,448
法人税等の支払額		△32,431	△133,064	△36,779
営業活動によるキャッシュ・フロー		△21,440	△96,517	875,595
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出		△87,118	△126,720	△312,377
有形固定資産の売却による収入		10	—	19
無形固定資産の取得による支出		△4,055	△813	△16,930
保証金の差入による支出		△26,030	△44,796	△26,736
保証金の返還による収入		4,328	13,510	31,576
その他投資による支出		△8,712	△27,380	△21,990
その他投資回収による収入		—	—	33,646
投資活動によるキャッシュ・フロー		△121,576	△186,199	△312,793

		平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日
項目	注記 番号	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の新規借入額		—	280,000	300,000
短期借入金の返済額		—	△79,999	△90,000
長期借入金の新規借入額		234,000	403,000	584,000
長期借入金の返済額		△311,975	△328,193	△1,245,221
社債の償還による支出		△10,000	△10,000	△110,000
株式発行による収入		—	—	198
配当金の支払額		△46	△10,934	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー		△88,021	253,873	△561,152
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額又は減少額 （△）		△231,039	△28,843	1,648
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高		955,159	956,808	955,159
Ⅶ 現金及び現金同等物の第1四半期末（期末） 残高	※	724,119	927,965	956,808

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

	平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前連結会計年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日
1. 連結の範囲に関する事項	連結子会社の数 4社 連結子会社の名称 ㈱システムプランベネックス ㈱エクセルシア からふね屋珈琲㈱ ㈱クリエイト・ユー	連結子会社の数 同左 連結子会社の名称 同左	連結子会社の数 同左 連結子会社の名称 同左
2. 持分法の適用に関する事項	持分法の適用の対象となる 関連会社はありません。	同左	同左
3. 連結子会社の四半期 決算日（決算日）等 に関する事項	連結子会社の四半期決算日が 四半期連結決算日と異なる会 社 連結子会社名 ㈱システムプランベネックス 第1四半期決算日 平成18年10月31日 四半期連結財務諸表を作成 するにあたっては、子会社の 四半期決算日現在の四半期財 務諸表を使用し、四半期連結 決算日との間に生じた重要な 取引については、連結上必要 な調整を行っています。	同左  連結子会社名 ㈱システムプランベネックス 第1四半期決算日 平成19年10月31日 同左	連結決算日と決算日が異なる 連結子会社  連結子会社名 ㈱システムプランベネックス 決算日 平成19年7月31日 連結財務諸表を作成するに あたっては、子会社の決算日 現在の財務諸表を使用し、連 結決算日との間に生じた重要 な取引については、連結上必 要な調整を行っています。
4. 会計処理基準に関す る事項	(イ) 重要な資産の評価基準及 び評価方法 ①有価証券 その他有価証券 ・時価のあるもの： 四半期末日の市場価格等 に基づく時価法（評価差 額は全部純資産直入法に より処理し、売却原価は 移動平均法により算定） を採用しております。 ・時価のないもの： 移動平均法による原価法 ただし、投資事業組合 への出資金は、組合財産 の持分相当額を投資有価 証券として計上し、組合 契約に規定される決算報 告に基づく純損益の持分 相当額を当第1四半期連 結会計期間の損益として 計上する方法（純額方式） によっております。 ②たな卸資産 製品及び仕掛品 個別法による原価法 その他 最終仕入原価法	(イ) 重要な資産の評価基準及 び評価方法 ①有価証券 その他有価証券 ・時価のあるもの： 同左  ・時価のないもの： 同左  ②たな卸資産 製品及び仕掛品 同左 その他 同左	(イ) 重要な資産の評価基準及 び評価方法 ①有価証券 その他有価証券 ・時価のあるもの： 決算日の市場価格等に基づ く時価法（評価差額は全 部純資産直入法により 処理し、売却原価は移動 平均法により算定）を採 用しております。 ・時価のないもの： 移動平均法による原価法 ただし、投資事業組合 への出資金は、組合財産 の持分相当額を投資有価 証券として計上し、組合 契約に規定される決算報 告に基づく純損益の持分 相当額を当連結会計年度 の損益として計上する方 法（純額方式）によってお ります。 ②たな卸資産 製品及び仕掛品 同左 その他 同左

	平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前連結会計年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日
	<p>(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 定率法 ただし、建物（建物附属設備を除く）については、法人税法に定める定額法によっております。 なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。 また、取得価額20万円未満の少額減価償却資産については、事業年度毎に一括して3年間で均等償却しております。</p> <p>②無形固定資産 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p> <p>③長期前払費用 定額法 なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p>	<p>(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 定率法 同左</p> <p>(追加情報) 当社グループは、法人税法の改正に伴い平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。 なお、この変更による営業損失、経常損失及び税金等調整前第1四半期純損失に与える影響は軽微であります。</p> <p>②無形固定資産 定額法 同左</p> <p>③長期前払費用 定額法 同左</p>	<p>(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 定率法 同左</p> <p>(会計方針の変更) 平成19年度の法人税法の改正（(所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号)及び(法人税法施行令の一部を改正する法令 平成19年3月30日 政令第83号)）に伴い、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。 これに伴う損益への影響は軽微であります。</p> <p>②無形固定資産 定額法 同左</p> <p>③長期前払費用 定額法 同左</p>



	平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日	前連結会計年度 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日
	<p>(ハ) 重要な引当金の計上基準</p> <p>①貸倒引当金 当社及び連結子会社は、売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>②賞与引当金 当社及び連結子会社は、従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当第1四半期連結会計期間の負担額を計上しております。</p> <p>(ニ) 重要なリース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>(ホ) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>①ヘッジ会計の方法 原則として繰延ヘッジ処理によっております。 また、特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引については特例処理によっております。</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象 当第1四半期連結会計期間にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。 ヘッジ手段 金利スワップ及び金利キャップ ヘッジ対象 借入金</p> <p>③ヘッジ方針 デリバティブ取引に関する社内規程に基づき、ヘッジ対象に係る金利変動リスクを一定の範囲内でヘッジしております。</p> <p>④ヘッジ有効性の評価の方法 特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、有効性の評価を省略しております。</p>	<p>(ハ) 重要な引当金の計上基準</p> <p>①貸倒引当金 同左</p> <p>②賞与引当金 同左</p> <p>(ニ) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(ホ) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>①ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象 同左  ヘッジ手段 同左  ヘッジ対象 同左</p> <p>③ヘッジ方針 同左</p> <p>④ヘッジ有効性の評価の方法 同左</p>	<p>(ハ) 重要な引当金の計上基準</p> <p>①貸倒引当金 同左</p> <p>②賞与引当金 当社及び連結子会社は、従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当連結会計年度の負担額を計上しております。</p> <p>(ニ) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(ホ) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>①ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象 当連結会計年度にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。 ヘッジ手段 同左  ヘッジ対象 同左</p> <p>③ヘッジ方針 同左</p> <p>④ヘッジ有効性の評価の方法 同左</p>

	平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日	前連結会計年度 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日
	(へ) その他四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の処理方法 消費税等の会計処理は、 税抜方式によっております。	(へ) その他四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の処理方法 同左	(へ) その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の処理方法 同左
5. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (連結キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲	手許現金、要求払預金及び 取得日から3ヶ月以内に満期日又は償還日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資であります。	同左	同左

(5) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

平成19年8月期 第1四半期連結会計期間末 (平成18年11月30日現在)	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間末 (平成19年11月30日現在)	前連結会計年度末 (平成19年8月31日現在)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,215,714千円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,361,558千円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,311,844千円
※2 担保に供している資産 (1) 担保に供している資産 定期預金 40,057千円 差入保証金 147,184千円 合計 187,242千円 (2) 上記に対応する債務 短期借入金 -千円 長期借入金 1,326,240千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)	※2 担保に供している資産 (1) 担保に供している資産 定期預金 40,123千円 差入保証金 146,983千円 合計 187,107千円 (2) 上記に対応する債務 短期借入金 30,000千円 長期借入金 982,894千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)	※2 担保に供している資産 (1) 担保に供している資産 定期預金 40,103千円 差入保証金 146,983千円 合計 187,087千円 (2) 上記に対応する債務 短期借入金 60,000千円 長期借入金 1,021,363千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)
※3 消費税等の取り扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺の上、流動負債の「その他」に含めて表示しております。	※3 消費税等の取り扱い 同左	※3 消費税の取り扱い -

## (四半期連結損益計算書関係)

平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前連結会計年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日																																																																																																												
<p>※1 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <table border="0"> <tr><td>役員報酬</td><td>32,499千円</td></tr> <tr><td>給料手当</td><td>58,609千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td>1,975千円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>14,348千円</td></tr> <tr><td>のれん償却額</td><td>13,001千円</td></tr> </table> <p>※2 固定資産除却損の主なものは次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr><td>建物除却損</td><td>2,623千円</td></tr> <tr><td>工具器具備品除却損</td><td>386千円</td></tr> </table> <p>※3 減損損失の主な内容は次のとおりであります。</p> <p>(1) 概要</p> <p>当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗ごとに資産のグルーピングをしております。</p> <p>営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗を対象とし、回収可能額が帳簿価額を下回るものについて建物及び構築物等の帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>(2) 当第1四半期連結会計期間において減損損失を計上した資産</p> <table border="0"> <tr><td>① 西葛西店</td><td>東京都江戸川区</td></tr> <tr><td>(ビリヤード・</td><td>建物</td></tr> <tr><td>ダーツ店舗)</td><td></td></tr> <tr><td>② 恵比寿店</td><td>東京都渋谷区</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物</td></tr> <tr><td>③ 高尾店</td><td>東京都八王子市</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物及び工具器具備品等</td></tr> </table> <p>(3) 減損損失の金額</p> <table border="0"> <tr><td>建物</td><td>15,611千円</td></tr> <tr><td>工具器具備品</td><td>161千円</td></tr> <tr><td>その他(長期前払費用)</td><td>1,763千円</td></tr> <tr><td>差入保証金</td><td>3,978千円</td></tr> </table> <p>(4) 回収可能額の算定方法</p> <p>回収可能額は将来キャッシュ・フローを4%の割引率で割り引いて計算しております。</p>	役員報酬	32,499千円	給料手当	58,609千円	賞与引当金繰入額	1,975千円	賃借料	14,348千円	のれん償却額	13,001千円	建物除却損	2,623千円	工具器具備品除却損	386千円	① 西葛西店	東京都江戸川区	(ビリヤード・	建物	ダーツ店舗)		② 恵比寿店	東京都渋谷区	(まんが店舗)	建物	③ 高尾店	東京都八王子市	(まんが店舗)	建物及び工具器具備品等	建物	15,611千円	工具器具備品	161千円	その他(長期前払費用)	1,763千円	差入保証金	3,978千円	<p>※1 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <table border="0"> <tr><td>役員報酬</td><td>31,389千円</td></tr> <tr><td>給料手当</td><td>70,808千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td>3,799千円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>13,609千円</td></tr> <tr><td>のれん償却額</td><td>13,001千円</td></tr> </table> <p>※2 固定資産除却損の主なものは次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr><td>建物除却損</td><td>9,118千円</td></tr> </table> <p>※3 減損損失の主な内容は次のとおりであります。</p> <p>(1) 概要</p> <p>同左</p> <p>(2) 当第1四半期連結会計期間において減損損失を計上した資産</p> <table border="0"> <tr><td>① 千葉中央店</td><td>千葉県千葉市</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物及びその他(構築物)</td></tr> <tr><td>② 川越店</td><td>埼玉県川越市</td></tr> <tr><td>(カラオケ店舗)</td><td>建物及びその他(構築物)</td></tr> </table> <p>(3) 減損損失の金額</p> <table border="0"> <tr><td>建物</td><td>39,757千円</td></tr> <tr><td>その他(構築物)</td><td>4,938千円</td></tr> </table> <p>(4) 回収可能額の算定方法</p> <p>同左</p>	役員報酬	31,389千円	給料手当	70,808千円	賞与引当金繰入額	3,799千円	賃借料	13,609千円	のれん償却額	13,001千円	建物除却損	9,118千円	① 千葉中央店	千葉県千葉市	(まんが店舗)	建物及びその他(構築物)	② 川越店	埼玉県川越市	(カラオケ店舗)	建物及びその他(構築物)	建物	39,757千円	その他(構築物)	4,938千円	<p>※1 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <table border="0"> <tr><td>役員報酬</td><td>127,026千円</td></tr> <tr><td>給料手当</td><td>241,856千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td>2,335千円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>53,117千円</td></tr> <tr><td>のれん償却額</td><td>52,007千円</td></tr> </table> <p>※2 固定資産除却損の主なものは次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr><td>建物除却損</td><td>46,144千円</td></tr> <tr><td>構築物除却損</td><td>289千円</td></tr> <tr><td>工具器具備品除却損</td><td>5,827千円</td></tr> </table> <p>※3 減損損失の主な内容は次のとおりであります。</p> <p>(1) 概要</p> <p>同左</p> <p>(2) 当連結会計年度において減損損失を計上した資産</p> <table border="0"> <tr><td>① 西葛西店</td><td>東京都江戸川区</td></tr> <tr><td>(ビリヤード・</td><td>建物</td></tr> <tr><td>ダーツ店舗)</td><td></td></tr> <tr><td>② 恵比寿店</td><td>東京都渋谷区</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物</td></tr> <tr><td>③ 高尾店</td><td>東京都八王子市</td></tr> <tr><td>(まんが店舗)</td><td>建物及び工具器具備品等</td></tr> <tr><td>④ 札幌店</td><td>北海道札幌市</td></tr> <tr><td>(カラオケ店舗)</td><td>建物</td></tr> <tr><td>⑤ 中洲店</td><td>福岡県福岡市</td></tr> <tr><td>(複合カフェ店</td><td>建物</td></tr> <tr><td>舗)</td><td></td></tr> </table> <p>(3) 減損損失の金額</p> <table border="0"> <tr><td>建物</td><td>79,724千円</td></tr> <tr><td>工具器具備品</td><td>161千円</td></tr> <tr><td>その他(長期前払費用)</td><td>4,517千円</td></tr> <tr><td>差入保証金</td><td>3,978千円</td></tr> </table> <p>(4) 回収可能額の算定方法</p> <p>同左</p>	役員報酬	127,026千円	給料手当	241,856千円	賞与引当金繰入額	2,335千円	賃借料	53,117千円	のれん償却額	52,007千円	建物除却損	46,144千円	構築物除却損	289千円	工具器具備品除却損	5,827千円	① 西葛西店	東京都江戸川区	(ビリヤード・	建物	ダーツ店舗)		② 恵比寿店	東京都渋谷区	(まんが店舗)	建物	③ 高尾店	東京都八王子市	(まんが店舗)	建物及び工具器具備品等	④ 札幌店	北海道札幌市	(カラオケ店舗)	建物	⑤ 中洲店	福岡県福岡市	(複合カフェ店	建物	舗)		建物	79,724千円	工具器具備品	161千円	その他(長期前払費用)	4,517千円	差入保証金	3,978千円
役員報酬	32,499千円																																																																																																													
給料手当	58,609千円																																																																																																													
賞与引当金繰入額	1,975千円																																																																																																													
賃借料	14,348千円																																																																																																													
のれん償却額	13,001千円																																																																																																													
建物除却損	2,623千円																																																																																																													
工具器具備品除却損	386千円																																																																																																													
① 西葛西店	東京都江戸川区																																																																																																													
(ビリヤード・	建物																																																																																																													
ダーツ店舗)																																																																																																														
② 恵比寿店	東京都渋谷区																																																																																																													
(まんが店舗)	建物																																																																																																													
③ 高尾店	東京都八王子市																																																																																																													
(まんが店舗)	建物及び工具器具備品等																																																																																																													
建物	15,611千円																																																																																																													
工具器具備品	161千円																																																																																																													
その他(長期前払費用)	1,763千円																																																																																																													
差入保証金	3,978千円																																																																																																													
役員報酬	31,389千円																																																																																																													
給料手当	70,808千円																																																																																																													
賞与引当金繰入額	3,799千円																																																																																																													
賃借料	13,609千円																																																																																																													
のれん償却額	13,001千円																																																																																																													
建物除却損	9,118千円																																																																																																													
① 千葉中央店	千葉県千葉市																																																																																																													
(まんが店舗)	建物及びその他(構築物)																																																																																																													
② 川越店	埼玉県川越市																																																																																																													
(カラオケ店舗)	建物及びその他(構築物)																																																																																																													
建物	39,757千円																																																																																																													
その他(構築物)	4,938千円																																																																																																													
役員報酬	127,026千円																																																																																																													
給料手当	241,856千円																																																																																																													
賞与引当金繰入額	2,335千円																																																																																																													
賃借料	53,117千円																																																																																																													
のれん償却額	52,007千円																																																																																																													
建物除却損	46,144千円																																																																																																													
構築物除却損	289千円																																																																																																													
工具器具備品除却損	5,827千円																																																																																																													
① 西葛西店	東京都江戸川区																																																																																																													
(ビリヤード・	建物																																																																																																													
ダーツ店舗)																																																																																																														
② 恵比寿店	東京都渋谷区																																																																																																													
(まんが店舗)	建物																																																																																																													
③ 高尾店	東京都八王子市																																																																																																													
(まんが店舗)	建物及び工具器具備品等																																																																																																													
④ 札幌店	北海道札幌市																																																																																																													
(カラオケ店舗)	建物																																																																																																													
⑤ 中洲店	福岡県福岡市																																																																																																													
(複合カフェ店	建物																																																																																																													
舗)																																																																																																														
建物	79,724千円																																																																																																													
工具器具備品	161千円																																																																																																													
その他(長期前払費用)	4,517千円																																																																																																													
差入保証金	3,978千円																																																																																																													

(四半期連結株主資本等変動計算書関係)

前第1四半期連結会計期間(自平成18年9月1日至平成18年11月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数(株)	当第1四半期連結会計期間増加株式数(株)	当第1四半期連結会計期間減少株式数(株)	当第1四半期連結会計期間末株式数(株)
発行済株式				
普通株式	33,064	—	—	33,064
合計	33,064	—	—	33,064
自己株式				
普通株式	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

新株予約権及び自己新株予約権の当第1四半期連結会計期間末残高はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第1四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結会計期間(自平成19年9月1日至平成19年11月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数(株)	当第1四半期連結会計期間増加株式数(株)	当第1四半期連結会計期間減少株式数(株)	当第1四半期連結会計期間末株式数(株)
発行済株式				
普通株式	33,068	—	—	33,068
合計	33,068	—	—	33,068
自己株式				
普通株式	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

新株予約権及び自己新株予約権の当第1四半期連結会計期間末残高はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成19年11月29日 定時株主総会	普通株式	16,534,000	500	平成19年8月31日	平成19年11月30日

(2) 基準日が当第1四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

前連結会計年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数（株）	当連結会計年度増加株式数（株）	当連結会計年度減少株式数（株）	当連結会計年度末株式数（株）
発行済株式				
普通株式	33,064	4	—	33,068
合計	33,064	4	—	33,068
自己株式				
普通株式	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

(注) 普通株式の発行済株式総数の増加4株は、下記による増加であります。

新株予約権の権利行使による新株の発行による増加4株

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

新株予約権及び自己新株予約権の前連結会計年度末残高はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当連結会計年度末後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額（円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成19年11月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	16,534,000	500	平成19年8月31日	平成19年11月30日

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前連結会計年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日
※ 現金及び現金同等物の第1四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成18年11月30日現在)	※ 現金及び現金同等物の第1四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成19年11月30日現在)	※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成19年8月31日現在)
現金及び預金 829,983千円	現金及び預金 1,037,443千円	現金及び預金 1,045,310千円
預入れ期間が3ヶ月を超える預金等 105,864千円	預入れ期間が3ヶ月を超える預金等 109,477千円	預入れ期間が3ヶ月を超える預金等 88,502千円
現金及び現金同等物 724,119千円	現金及び現金同等物 927,965千円	現金及び現金同等物 956,808千円

## (リース取引関係)

平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前連結会計年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日																																																												
<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第1四半期連結会計期間末残高相当額 工具器具備品 取得価額相当額 1,564,688千円 減価償却累計額相当額 744,302千円</p> <hr/> <p>第1四半期連結会計期間末残高相当額 820,385千円</p> <p>②未経過リース料第1四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>318,960千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>646,340千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>965,300千円</td></tr> </table> <p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>支払リース料</td><td>87,913千円</td></tr> <tr><td>減価償却費相当額</td><td>97,821千円</td></tr> <tr><td>支払利息相当額</td><td>9,542千円</td></tr> </table> <p>④減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>⑤利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p> <p>(2) オペレーティング・リース取引 (借主側)</p> <table border="0"> <tr><td>未経過リース料</td><td></td></tr> <tr><td>1年内</td><td>78,000千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>169,000千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>247,000千円</td></tr> </table>	1年内	318,960千円	1年超	646,340千円	合計	965,300千円	支払リース料	87,913千円	減価償却費相当額	97,821千円	支払利息相当額	9,542千円	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	169,000千円	合計	247,000千円	<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第1四半期連結会計期間末残高相当額 工具器具備品 取得価額相当額 1,498,359千円 減価償却累計額相当額 825,706千円</p> <hr/> <p>第1四半期連結会計期間末残高相当額 672,652千円</p> <p>②未経過リース料第1四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>460,838千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>230,743千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>691,581千円</td></tr> </table> <p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>支払リース料</td><td>85,473千円</td></tr> <tr><td>減価償却費相当額</td><td>76,188千円</td></tr> <tr><td>支払利息相当額</td><td>5,743千円</td></tr> </table> <p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p> <p>⑤利息相当額の算定方法 同左</p> <p>(2) オペレーティング・リース取引 (借主側)</p> <table border="0"> <tr><td>未経過リース料</td><td></td></tr> <tr><td>1年内</td><td>78,000千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>91,000千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>169,000千円</td></tr> </table>	1年内	460,838千円	1年超	230,743千円	合計	691,581千円	支払リース料	85,473千円	減価償却費相当額	76,188千円	支払利息相当額	5,743千円	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	91,000千円	合計	169,000千円	<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 工具器具備品 取得価額相当額 1,543,525千円 減価償却累計額相当額 804,108千円</p> <hr/> <p>期末残高相当額 739,417千円</p> <p>②未経過リース料期末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>419,183千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>342,409千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>761,592千円</td></tr> </table> <p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>支払リース料</td><td>345,511千円</td></tr> <tr><td>減価償却費相当額</td><td>309,173千円</td></tr> <tr><td>支払利息相当額</td><td>32,153千円</td></tr> </table> <p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p> <p>⑤利息相当額の算定方法 同左</p> <p>(2) オペレーティング・リース取引 (借主側)</p> <table border="0"> <tr><td>未経過リース料</td><td></td></tr> <tr><td>1年内</td><td>78,000千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>110,500千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>188,500千円</td></tr> </table>	1年内	419,183千円	1年超	342,409千円	合計	761,592千円	支払リース料	345,511千円	減価償却費相当額	309,173千円	支払利息相当額	32,153千円	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	110,500千円	合計	188,500千円
1年内	318,960千円																																																													
1年超	646,340千円																																																													
合計	965,300千円																																																													
支払リース料	87,913千円																																																													
減価償却費相当額	97,821千円																																																													
支払利息相当額	9,542千円																																																													
未経過リース料																																																														
1年内	78,000千円																																																													
1年超	169,000千円																																																													
合計	247,000千円																																																													
1年内	460,838千円																																																													
1年超	230,743千円																																																													
合計	691,581千円																																																													
支払リース料	85,473千円																																																													
減価償却費相当額	76,188千円																																																													
支払利息相当額	5,743千円																																																													
未経過リース料																																																														
1年内	78,000千円																																																													
1年超	91,000千円																																																													
合計	169,000千円																																																													
1年内	419,183千円																																																													
1年超	342,409千円																																																													
合計	761,592千円																																																													
支払リース料	345,511千円																																																													
減価償却費相当額	309,173千円																																																													
支払利息相当額	32,153千円																																																													
未経過リース料																																																														
1年内	78,000千円																																																													
1年超	110,500千円																																																													
合計	188,500千円																																																													

平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前連結会計年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日																																																												
<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引（貸主側）</p> <p>①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び第1四半期連結会計期間末残高</p> <table border="0"> <tr><td>工具器具備品</td><td></td></tr> <tr><td>取得価額</td><td>36,894千円</td></tr> <tr><td>減価償却累計額</td><td>10,964千円</td></tr> <tr><td>第1四半期連結会計期間末残高</td><td>25,930千円</td></tr> </table> <p>②未経過リース料第1四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>10,033千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>19,169千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>29,202千円</td></tr> </table> <p>③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>受取リース料</td><td>4,008千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>2,672千円</td></tr> <tr><td>受取利息相当額</td><td>1,826千円</td></tr> </table> <p>④利息相当額の算定方法</p> <p>リース料総額と見積残存価額の合計額からリース物件の取得価額を控除した額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p>	工具器具備品		取得価額	36,894千円	減価償却累計額	10,964千円	第1四半期連結会計期間末残高	25,930千円	1年内	10,033千円	1年超	19,169千円	合計	29,202千円	受取リース料	4,008千円	減価償却費	2,672千円	受取利息相当額	1,826千円	<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引（貸主側）</p> <p>①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び第1四半期連結会計期間末残高</p> <table border="0"> <tr><td>工具器具備品</td><td></td></tr> <tr><td>取得価額</td><td>53,755千円</td></tr> <tr><td>減価償却累計額</td><td>25,028千円</td></tr> <tr><td>第1四半期連結会計期間末残高</td><td>28,726千円</td></tr> </table> <p>②未経過リース料第1四半期連結会計期間末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>17,383千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>16,173千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>33,557千円</td></tr> </table> <p>③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>受取リース料</td><td>5,939千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>3,925千円</td></tr> <tr><td>受取利息相当額</td><td>2,250千円</td></tr> </table> <p>④利息相当額の算定方法</p> <p>同左</p>	工具器具備品		取得価額	53,755千円	減価償却累計額	25,028千円	第1四半期連結会計期間末残高	28,726千円	1年内	17,383千円	1年超	16,173千円	合計	33,557千円	受取リース料	5,939千円	減価償却費	3,925千円	受取利息相当額	2,250千円	<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引（貸主側）</p> <p>①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び期末残高</p> <table border="0"> <tr><td>工具器具備品</td><td></td></tr> <tr><td>取得価額</td><td>55,193千円</td></tr> <tr><td>減価償却累計額</td><td>21,343千円</td></tr> <tr><td>期末残高</td><td>33,850千円</td></tr> </table> <p>②未経過リース料期末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>16,831千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>21,757千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>38,588千円</td></tr> </table> <p>③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>受取リース料</td><td>19,815千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>13,051千円</td></tr> <tr><td>受取利息相当額</td><td>8,720千円</td></tr> </table> <p>④利息相当額の算定方法</p> <p>同左</p>	工具器具備品		取得価額	55,193千円	減価償却累計額	21,343千円	期末残高	33,850千円	1年内	16,831千円	1年超	21,757千円	合計	38,588千円	受取リース料	19,815千円	減価償却費	13,051千円	受取利息相当額	8,720千円
工具器具備品																																																														
取得価額	36,894千円																																																													
減価償却累計額	10,964千円																																																													
第1四半期連結会計期間末残高	25,930千円																																																													
1年内	10,033千円																																																													
1年超	19,169千円																																																													
合計	29,202千円																																																													
受取リース料	4,008千円																																																													
減価償却費	2,672千円																																																													
受取利息相当額	1,826千円																																																													
工具器具備品																																																														
取得価額	53,755千円																																																													
減価償却累計額	25,028千円																																																													
第1四半期連結会計期間末残高	28,726千円																																																													
1年内	17,383千円																																																													
1年超	16,173千円																																																													
合計	33,557千円																																																													
受取リース料	5,939千円																																																													
減価償却費	3,925千円																																																													
受取利息相当額	2,250千円																																																													
工具器具備品																																																														
取得価額	55,193千円																																																													
減価償却累計額	21,343千円																																																													
期末残高	33,850千円																																																													
1年内	16,831千円																																																													
1年超	21,757千円																																																													
合計	38,588千円																																																													
受取リース料	19,815千円																																																													
減価償却費	13,051千円																																																													
受取利息相当額	8,720千円																																																													

(有価証券関係)

前第1四半期連結会計期間末(平成18年11月30日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

種類	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
株式	2,750	1,430	△1,320
合計	2,750	1,430	△1,320

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容

	四半期連結貸借対照表計上額(千円)
その他有価証券	
①非上場株式	30,382
②組合契約出資持分	9,531
③その他	5,000
合計	44,913

当第1四半期連結会計期間末(平成19年11月30日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

種類	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
株式	532	420	△112
その他	5,000	11,909	6,909
合計	5,532	12,329	6,797

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容

	四半期連結貸借対照表計上額(千円)
その他有価証券	
①非上場株式	30,382
②組合契約出資持分	8,779
合計	39,162

前連結会計年度末(平成19年8月31日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

種類	取得原価(千円)	連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
株式	532	291	△241
その他	5,000	10,383	5,383
合計	5,532	10,674	5,142

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容

	連結貸借対照表計上額(千円)
その他有価証券	
①非上場株式	30,382
②組合契約出資持分	9,239
合計	39,622



(デリバティブ取引関係)

前第1四半期連結会計期間末（平成18年11月30日現在）

当社グループは、金利スワップ取引及び金利キャップ取引を利用していますが、特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、記載しておりません。

当第1四半期連結会計期間末（平成19年11月30日現在）

当社グループは、金利スワップ取引及び金利キャップ取引を利用していますが、特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、記載しておりません。

前連結会計年度末（平成19年8月31日現在）

当社グループは、金利スワップ取引及び金利キャップ取引を利用していますが、特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、記載しておりません。

(ストック・オプション等関係)

前第1四半期連結会計期間（自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日）

該当事項はありません。

当第1四半期連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日）

該当事項はありません。

前連結会計年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## ① 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結会計期間（自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日）

	カラオケルーム運営事業 (千円)	ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 (千円)	まんが喫茶（複合カフェ）運営事業 (千円)	音響設備販売事業 (千円)	音源販売事業 (千円)	フルサービス型珈琲ショップ運営事業 (千円)	その他の事業 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,117,510	96,950	117,039	68,379	35,076	118,662	4,971
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	23,013	10,205	—	—
計	1,117,510	96,950	117,039	91,392	45,281	118,662	4,971
営業費用	1,084,041	89,828	129,586	101,279	49,463	129,523	2,488
営業利益（又は営業損失△）	33,469	7,121	△12,547	△9,887	△4,181	△10,861	2,483

	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	1,558,589	—	1,558,589
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	33,218	(33,218)	—
計	1,591,808	(33,218)	1,558,589
営業費用	1,586,212	65,376	1,651,588
営業利益（又は営業損失△）	5,596	(98,595)	△92,999

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各区分の主な内容

- (1)カラオケルーム運営事業 : カラオケルームの直営店の営業  
(2)ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 : ビリヤード・ダーツ場の直営店の営業  
(3)まんが喫茶（複合カフェ）運営事業 : まんが喫茶（複合カフェ）店の直営店の営業  
(4)音響設備販売事業 : 音響設備のハードウェア及びソフトウェアの制作販売事業  
(5)音源販売事業 : 携帯電話用着うた<sup>®</sup>等の音源の制作販売事業  
(6)フルサービス型珈琲ショップ運営事業 : フルサービス型珈琲ショップの運営事業

3. 営業費用の内、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は101,832千円であり、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

当第1四半期連結会計期間（自平成19年9月1日至平成19年11月30日）

	カラオケルーム運営事業 (千円)	ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 (千円)	まんが喫茶（複合カフェ）運営事業 (千円)	音響設備販売事業 (千円)	音源販売事業 (千円)	フルサービス型珈琲ショップ運営事業 (千円)	その他の事業 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,168,611	101,596	95,953	42,920	42,844	126,716	2,031
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	21,377	10,131	—	—
計	1,168,611	101,596	95,953	64,298	52,976	126,716	2,031
営業費用	1,084,961	80,041	92,145	69,904	51,718	129,005	1,266
営業利益（又は営業損失△）	83,649	21,555	3,808	△5,605	1,257	△2,288	765

	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	1,580,675	—	1,580,675
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	31,509	(31,509)	—
計	1,612,185	(31,509)	1,580,675
営業費用	1,509,043	82,864	1,591,907
営業利益（又は営業損失△）	103,141	(114,374)	△11,232

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な内容

- (1)カラオケルーム運営事業 : カラオケルームの直営店の営業
- (2)ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 : ビリヤード・ダーツ場の直営店の営業
- (3)まんが喫茶（複合カフェ）運営事業 : まんが喫茶（複合カフェ）店の直営店の営業
- (4)音響設備販売事業 : 音響設備のハードウェア及びソフトウェアの制作販売事業
- (5)音源販売事業 : 携帯電話用着うた<sup>®</sup>等の音源の制作販売事業
- (6)フルサービス型珈琲ショップ運営事業 : フルサービス型珈琲ショップの運営事業
- (7)その他の事業 : 鉄人システムのレンタル事業

3. 営業費用の内、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は127,470千円であり、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

前連結会計年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

	カラオケ ルーム運 営事業 (千円)	ビリヤード・ダー ツ遊技場 運営事業 (千円)	まんが喫 茶（複合 カフェ） 運営事業 (千円)	音響設備 販売事業 (千円)	音源販売 事業 (千円)	フルサービ ス型珈琲 ショップ運 営事業 (千円)	その他の 事業 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,115,155	411,285	439,819	232,213	137,402	492,716	11,638
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	137,024	37,756	—	—
計	5,115,155	411,285	439,819	369,237	175,159	492,716	11,638
営業費用	4,286,025	355,583	486,478	361,260	188,068	491,493	5,444
営業利益（又は営業損失△）	829,130	55,701	△46,659	7,977	△12,909	1,222	6,194

	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	6,840,231	—	6,840,231
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	174,780	(174,780)	—
計	7,015,012	(174,780)	6,840,231
営業費用	6,174,353	252,704	6,427,058
営業利益（又は営業損失△）	840,658	(427,485)	413,172

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な内容

- (1)カラオケルーム運営事業 : カラオケルームの直営店の営業
- (2)ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業 : ビリヤード・ダーツ場の直営店の営業
- (3)まんが喫茶（複合カフェ）運営事業 : まんが喫茶（複合カフェ）店の直営店の営業
- (4)音響設備販売事業 : 音響設備のハードウェア及びソフトウェアの制作販売事業
- (5)音源販売事業 : 携帯電話用着信メロディ等の音源の制作販売事業
- (6)フルサービス型珈琲ショップ運営事業 : フルサービス型珈琲ショップの運営事業

3. 営業費用の内、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は423,180千円であり、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

② 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結会計期間（自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

前連結会計年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

前第1四半期連結会計期間（自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日）

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日）

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

前連結会計年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前連結会計年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日
1株当たり純資産額 41,908円41銭 1株当たり第1四半 期純損失 2,860円34銭 潜在株式調整後1株 当たり第1四半期純 利益金額	1株当たり純資産額 44,125円97銭 1株当たり第1四半 期純損失 1,969円38銭 潜在株式調整後1株 当たり第1四半期純 利益金額	1株当たり純資産額 46,564円07銭 1株当たり当期純利 益金額 1,665円66銭 潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金 額
潜在株式調整後1株 当たり第1四半期純 利益金額につきまし ては、第1四半 期純損失のため 記載しておりませ ん。	潜在株式調整後1株 当たり第1四半期純 利益金額につきまし ては、第1四半 期純損失のため 記載しておりませ ん。	潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金 額

(注) 1株当たり第1四半期純損失金額又は1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当期)純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	平成19年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期連結会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前連結会計年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日
1株当たり第1四半期純損失又は当期純 利益金額			
第1四半期純損失(△)又は当期純利 益(千円)	△94,574	△65,123	55,076
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—	—
普通株式に係る第1四半期純損失(△) 又は当期純利益(千円)	△94,574	△65,123	55,076
期中平均株式数(株)	33,064	33,068	33,066
潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当 期)純利益金額			
普通株式増加数(株)	—	—	186
(うち新株予約権)	—	—	(186)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調 整後1株当たり第1四半期(当期)純利 益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	平成15年6月26日定時 株主総会決議による新 株予約権方式のストッ ク・オプション(株式 の数444株)  平成17年11月25日定時 株主総会決議による新 株予約権方式のストッ ク・オプション(株式 の数792株)	平成17年11月25日定時 株主総会決議による新 株予約権方式のストッ ク・オプション(株式 の数819株)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

		平成19年8月期 第1四半期会計期間末 (平成18年11月30日現在)		平成20年8月期 第1四半期会計期間末 (平成19年11月30日現在)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年8月31日現在)	
科目	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	※2	664,894		764,546		815,628	
2 受取手形		21,333		12,800		14,933	
3 売掛金		22,300		35,456		32,298	
4 たな卸資産		32,643		39,353		37,603	
5 その他		300,194		272,795		231,354	
貸倒引当金		△696		—		—	
流動資産合計		1,040,669	18.6	1,124,951	20.1	1,131,818	20.5
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物	※1	1,822,322		1,817,211		1,799,929	
(2) 工具器具備品	※1	325,999		258,076		253,144	
(3) その他	※1	295,457		302,292		294,404	
有形固定資産合計		2,443,779	43.7	2,377,580	42.6	2,347,479	42.5
2 無形固定資産							
(1) ソフトウェア		52,349		68,240		72,801	
(2) その他		14,013		12,634		12,964	
無形固定資産合計		66,363	1.2	80,874	1.5	85,765	1.5
3 投資その他の資産							
(1) 関係会社株式		875,500		875,500		875,500	
(2) 出資金		140		140		140	
(3) 長期前払費用		118,963		82,874		87,232	
(4) 差入保証金	※2	875,384		906,300		864,020	
(5) その他		169,627		136,703		133,343	
貸倒引当金		—		△696		△696	
投資その他の資産合計		2,039,616	36.5	2,000,822	35.8	1,959,540	35.5
固定資産合計		4,549,759	81.4	4,459,277	79.9	4,392,784	79.5
資産合計		5,590,428	100.0	5,584,228	100.0	5,524,602	100.0

科目	注記 番号	平成19年8月期 第1四半期会計期間末 (平成18年11月30日現在)		平成20年8月期 第1四半期会計期間末 (平成19年11月30日現在)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年8月31日現在)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)							
I 流動負債							
1 買掛金		94,936		95,961		101,156	
2 短期借入金	※2	—		410,001		210,000	
3 一年以内返済予定長期借入金	※2	1,128,160		1,133,136		1,093,573	
4 一年以内償還予定社債		110,000		330,000		310,000	
5 未払金		39,586		144,425		121,524	
6 未払費用		285,505		317,785		284,621	
7 未払法人税等		8,751		8,730		124,170	
8 設備支払手形		652		—		—	
9 賞与引当金		5,796		8,242		7,566	
10 その他	※4	59,823		53,852		84,579	
流動負債合計		1,733,212	31.0	2,502,134	44.8	2,337,191	42.3
II 固定負債							
1 社債		375,000		45,000		75,000	
2 長期借入金	※2	1,966,903		1,426,209		1,419,088	
3 長期未払金		11,474		1,583		2,858	
4 その他		71,193		82,147		84,871	
固定負債合計		2,424,571	43.4	1,554,939	27.9	1,581,817	28.6
負債合計		4,157,783	74.4	4,057,073	72.7	3,919,009	70.9
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金		732,295	13.1	732,394	13.1	732,394	13.3
2 資本剰余金							
(1) 資本準備金		724,645		724,744		724,744	
資本剰余金合計		724,645	13.0	724,744	13.0	724,744	13.1
3 利益剰余金							
(1) その他利益剰余金							
繰越利益剰余金		△24,295		65,917		145,260	
利益剰余金合計		△24,295	△0.5	65,917	1.1	145,260	2.6
株主資本合計		1,432,645	25.6	1,523,057	27.2	1,602,400	29.0
II 評価・換算差額等							
1. その他有価証券評価差額金		—	—	4,097	0.1	3,192	0.1
評価・換算差額等合計		—	—	4,097	0.1	3,192	0.1
純資産合計		1,432,645	25.6	1,527,154	27.3	1,605,593	29.1
負債純資産合計		5,590,428	100.0	5,584,228	100.0	5,524,602	100.0



## (2) 四半期損益計算書

		平成19年8月期 第1四半期会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日		平成20年8月期 第1四半期会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日		前事業年度の 要約損益計算書 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日	
科目	注記 番号	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		1,294,669	100.0	1,352,603	100.0	5,860,172	100.0
II 売上原価		1,219,157	94.2	1,185,259	87.6	4,825,698	82.3
売上総利益		75,512	5.8	167,343	12.4	1,034,473	17.7
III 販売費及び一般管理費		160,605	12.4	185,529	13.7	644,691	11.0
営業利益又は営業損失 (△)		△85,093	△6.6	△18,186	△1.3	389,782	6.7
IV 営業外収益	※1	11,499	0.9	13,881	1.0	54,019	0.9
V 営業外費用	※2	21,345	1.6	19,702	1.5	83,051	1.4
経常利益又は経常損失 (△)		△94,939	△7.3	△24,007	△1.8	360,750	6.2
VI 特別損失	※3,4	21,902	1.7	53,841	4.0	138,208	2.4
税引前第1四半期純損失 (△)又は当期純利益		△116,841	△9.0	△77,849	△5.8	222,542	3.8
法人税、住民税及び事業税		4,189	0.3	4,240	0.3	113,858	2.0
法人税等調整額		△47,455	△3.7	△19,280	△1.4	12,703	0.2
第1四半期純損失 (△)又は当 期純利益		△73,576	△5.6	△62,809	△4.7	95,980	1.6

## (3) 四半期株主資本等変動計算書

平成19年8月期 第1四半期会計期間（自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
平成18年8月31日 残高（千円）	732,295	724,645	724,645	49,280	49,280	1,506,221	1,506,221
当第1四半期会計期間中の変動額							
第1四半期純損失（△）				△73,576	△73,576	△73,576	△73,576
株主資本以外の項目の当第1四半期会計期間中の変動額（純額）							
当第1四半期会計期間中の変動額合計（千円）	—	—	—	△73,576	△73,576	△73,576	△73,576
平成18年11月30日 残高（千円）	732,295	724,645	724,645	△24,295	△24,295	1,432,645	1,432,645

平成20年8月期 第1四半期会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
平成19年8月31日 残高（千円）	732,394	724,744	724,744	145,260	145,260	1,602,400
当第1四半期会計期間中の変動額						
剰余金の配当				△16,534	△16,534	△16,534
第1四半期純損失（△）				△62,809	△62,809	△62,809
株主資本以外の項目の当第1四半期会計期間中の変動額（純額）						
当第1四半期会計期間中の変動額合計（千円）	—	—	—	△79,343	△79,343	△79,343
平成19年11月30日 残高（千円）	732,394	724,744	724,744	65,917	65,917	1,523,057

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
平成19年8月31日 残高（千円）	3,192	3,192	1,605,593
当第1四半期会計期間中の変動額			
剰余金の配当			△16,534
第1四半期純損失（△）			△62,809
株主資本以外の項目の当第1四半期会計期間中の変動額（純額）	905	905	905
当第1四半期会計期間中の変動額合計（千円）	905	905	△78,438
平成19年11月30日 残高（千円）	4,097	4,097	1,527,154

平成19年8月期 事業年度（自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日）

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				繰越利益剰余金		
平成18年8月31日 残高 (千円)	732,295	724,645	724,645	49,280	49,280	1,506,221
事業年度中の変動額						
ストックオプション行使 による新株の発行	99	99	99			198
当期純利益				95,980	95,980	95,980
株主資本以外の項目の事 業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計 (千円)	99	99	99	95,980	95,980	96,178
平成19年8月31日 残高 (千円)	732,394	724,744	724,744	145,260	145,260	1,602,400

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
平成18年8月31日 残高 (千円)	—	—	1,506,221
事業年度中の変動額			
ストックオプション行使 による新株の発行			198
当期純利益			95,980
株主資本以外の項目の事 業年度中の変動額(純額)	3,192	3,192	3,192
事業年度中の変動額合計 (千円)	3,192	3,192	99,371
平成19年8月31日 残高 (千円)	3,192	3,192	1,605,593

四半期財務諸表作成の基本となる重要な事項

	平成19年8月期 第1四半期会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日	前事業年度 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日
1. 資産の評価基準及び 評価方法	<p>(1) 有価証券 子会社株式 移動平均法による原価法 其他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法 ただし、投資事業組合への出資金は、組合財産の持分相当額を投資有価証券として計上し、組合契約に規定される決算報告に基づく純損益の持分相当額を当第1四半期会計期間の損益として計上する方法(純額方式)によっております。</p> <p>(2) たな卸資産 最終仕入原価法</p>	<p>(1) 有価証券 子会社株式 同左 其他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価額等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。 時価のないもの 移動平均法による原価法 ただし、投資事業組合への出資金は、組合財産の持分相当額を投資有価証券として計上し、組合契約に規定される決算報告に基づく純損益の持分相当額を当第1四半期会計期間の損益として計上する方法(純額方式)によっております。</p> <p>(2) たな卸資産 同左</p>	<p>(1) 有価証券 子会社株式 同左 其他有価証券 時価のあるもの 同左  時価のないもの 移動平均法による原価法 ただし、投資事業組合への出資金は、組合財産の持分相当額を投資有価証券として計上し、組合契約に規定される決算報告に基づく純損益の持分相当額を当事業年度の損益として計上する方法(純額方式)によっております。</p> <p>(2) たな卸資産 同左</p>
2. 固定資産の減価償却 の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法 ただし、建物(建物附属設備を除く)については、法人税法に定める定額法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。また、取得価額20万円未満の少額減価償却資産については、事業年度毎に一括して3年間で均等償却しております。</p>	<p>(1) 有形固定資産 同左</p> <p>(追加情報) 当社は、法人税法の改正に伴い平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。 なお、この変更による営業損失、経常損失及び税引前第1四半期純損失に与える影響は軽微であります。</p>	<p>(1) 有形固定資産 同左</p> <p>(会計方針の変更) 平成19年度の法人税法の改正((所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号)及び(法人税法施行令の一部を改正する法令 平成19年3月30日 政令第83号))に伴い、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。 これに伴う損益への影響は軽微であります。</p>

	平成19年8月期 第1四半期会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日	前事業年度 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日
	(2) 無形固定資産 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。 (3) 長期前払費用 定額法 なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。	(2) 無形固定資産 同左  (3) 長期前払費用 同左	(2) 無形固定資産 同左  (3) 長期前払費用 同左
3. 引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 売上債権等の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当第1四半期会計期間の負担額を計上しております。	(1) 貸倒引当金 同左  (2) 賞与引当金 同左	(1) 貸倒引当金 同左  (2) 賞与引当金 従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上しております。
4. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同左	同左

	平成19年8月期 第1四半期会計期間 自平成18年9月1日 至平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期会計期間 自平成19年9月1日 至平成19年11月30日	前事業年度 自平成18年9月1日 至平成19年8月31日
5. ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 原則として繰延ヘッジ処理によっております。 また、特例処理の要件を満たしている金利スワップ及び金利キャップについては特例処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 当第1四半期会計期間にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。</p> <p>① ヘッジ手段 金利スワップ及び金利キャップ</p> <p>② ヘッジ対象 借入金</p> <p>(3) ヘッジ方針 デリバティブ取引に関する社内規程に基づき、ヘッジ対象に係る金利変動リスクを一定の範囲内でヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性の評価の方法 特例処理の要件を満たしている金利スワップ取引及び金利キャップ取引のみであるため、有効性の評価を省略しております。</p>	<p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 同左</p> <p>① ヘッジ手段 同左</p> <p>② ヘッジ対象 同左</p> <p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジ有効性の評価の方法 同左</p>	<p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 当事業年度にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。</p> <p>① ヘッジ手段 同左</p> <p>② ヘッジ対象 同左</p> <p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジ有効性の評価の方法 同左</p>
6. その他四半期財務諸表（財務諸表）作成のための基本となる重要な事項	消費税等の処理方法 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。	消費税等の処理方法 同左	消費税等の処理方法 同左

## (4) 注記事項

(四半期貸借対照表関係)

平成19年8月期 第1四半期会計期間末 (平成18年11月30日現在)	平成20年8月期 第1四半期会計期間末 (平成19年11月30日現在)	前事業年度末 (平成19年8月31日現在)																																													
※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,171,471千円  ※2 担保に供している資産 (1) 担保に供している資産 定期預金 40,057千円 差入保証金 147,184千円 合計 187,242千円 (2) 上記に対応する債務 長期借入金 1,326,240千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)  3 偶発債務 債務保証 次の関係会社について、金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。	※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,308,838千円  ※2 担保に供している資産 (1) 担保に供している資産 定期預金 40,123千円 差入保証金 146,983千円 合計 187,107千円 (2) 上記に対応する債務 短期借入金 30,000千円 長期借入金 982,894千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)  3 偶発債務 債務保証 次の関係会社について、金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。	※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,262,253千円  ※2 担保に供している資産 (1) 担保に供している資産 定期預金 40,103千円 差入保証金 146,983千円 合計 187,087千円 (2) 上記に対応する債務 短期借入金 60,000千円 長期借入金 1,021,363千円 (一年以内返済予定長期借入金を含む)  3 偶発債務 債務保証 次の関係会社について、金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>保証先</th> <th>金額 (千円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㈱システムプランベネックス</td> <td>44,071</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>㈱エクセルシア</td> <td>23,328</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>からふね屋珈琲㈱</td> <td>5,072</td> <td>リース債務</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72,471</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	金額 (千円)	内容	㈱システムプランベネックス	44,071	借入債務	㈱エクセルシア	23,328	借入債務	からふね屋珈琲㈱	5,072	リース債務	合計	72,471	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保証先</th> <th>金額 (千円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㈱システムプランベネックス</td> <td>71,397</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>㈱エクセルシア</td> <td>13,320</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>からふね屋珈琲㈱</td> <td>4,190</td> <td>リース債務</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>88,907</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	金額 (千円)	内容	㈱システムプランベネックス	71,397	借入債務	㈱エクセルシア	13,320	借入債務	からふね屋珈琲㈱	4,190	リース債務	合計	88,907	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保証先</th> <th>金額 (千円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㈱システムプランベネックス</td> <td>78,108</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>㈱エクセルシア</td> <td>15,822</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>からふね屋珈琲㈱</td> <td>4,474</td> <td>リース債務</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>98,404</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	金額 (千円)	内容	㈱システムプランベネックス	78,108	借入債務	㈱エクセルシア	15,822	借入債務	からふね屋珈琲㈱	4,474	リース債務	合計	98,404	—
保証先	金額 (千円)	内容																																													
㈱システムプランベネックス	44,071	借入債務																																													
㈱エクセルシア	23,328	借入債務																																													
からふね屋珈琲㈱	5,072	リース債務																																													
合計	72,471	—																																													
保証先	金額 (千円)	内容																																													
㈱システムプランベネックス	71,397	借入債務																																													
㈱エクセルシア	13,320	借入債務																																													
からふね屋珈琲㈱	4,190	リース債務																																													
合計	88,907	—																																													
保証先	金額 (千円)	内容																																													
㈱システムプランベネックス	78,108	借入債務																																													
㈱エクセルシア	15,822	借入債務																																													
からふね屋珈琲㈱	4,474	リース債務																																													
合計	98,404	—																																													
※4 消費税等の取り扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺の上、流動負債の「その他」に含めて表示しております。	※4 消費税等の取り扱い 同左	※4 消費税等の取り扱い —																																													

## (四半期損益計算書関係)

平成19年8月期 第1四半期会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前事業年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日
<p>※1 営業外収益のうち主なもの 受取利息配当金 255千円 受取販売支援金 3,036千円 受取事務受託料 5,400千円</p> <p>※2 営業外費用のうち主なもの 支払利息 17,085千円</p> <p>※3 特別損失のうち主なもの 固定資産除却損 386千円 減損損失 21,515千円</p> <p>※4 減損損失 (1) 概要 当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗ごとに資産のグルーピングをしております。 営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗を対象とし、回収可能額が帳簿価額を下回るものについて建物及び構築物等の帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。 (2) 当第1四半期会計期間において減損損失を計上した資産 ① 西葛西店 東京都江戸川区 (ビリヤード・建物 ダーツ店舗) ② 恵比寿店 東京都渋谷区 (まんが店舗) 建物 ③ 高尾店 東京都八王子市 (まんが店舗) 建物及び工具器具備品等</p> <p>(3) 減損損失の金額 建物 15,611千円 工具器具備品 161千円 長期前払費用 1,763千円 差入保証金 3,978千円</p> <p>(4) 回収可能額の算定方法 回収可能額は将来キャッシュ・フローを4%の割引率で割り引いて計算しております。</p> <p>5 減価償却実施額 有形固定資産 81,505千円 無形固定資産 5,783千円</p>	<p>※1 営業外収益のうち主なもの 受取利息配当金 254千円 受取販売支援金 3,457千円 受取事務受託料 3,000千円 受取保険金 1,082千円 受取設備利用料 2,284千円</p> <p>※2 営業外費用のうち主なもの 支払利息 16,930千円</p> <p>※3 特別損失のうち主なもの 固定資産除却損 9,146千円 減損損失 44,695千円</p> <p>※4 減損損失 (1) 概要 同左</p> <p>(2) 当第1四半期会計期間において減損損失を計上した資産 ① 千葉中央店 千葉県千葉市 (まんが店舗) 建物及びその他 (構築物) ② 川越店 埼玉県川越市 (カラオケ店舗) 建物及びその他 (構築物)</p> <p>(3) 減損損失の金額 建物 39,757千円 その他(構築物) 4,938千円</p> <p>(4) 回収可能額の算定方法 同左</p> <p>5 減価償却実施額 有形固定資産 63,925千円 無形固定資産 5,676千円</p>	<p>※1 営業外収益のうち主なもの 受取利息配当金 2,126千円 受取販売支援金 12,701千円 受取事務受託料 18,400千円 受取保険金 5,628千円 受取設備利用料 8,110千円</p> <p>※2 営業外費用のうち主なもの 支払利息 65,170千円</p> <p>※3 特別損失のうち主なもの 固定資産除却損 49,825千円 減損損失 88,382千円</p> <p>※4 減損損失 (1) 概要 同左</p> <p>(2) 当事業年度において減損損失を計上した資産 ① 西葛西店 東京都江戸川区 (ビリヤード・建物 ダーツ店舗) ② 恵比寿店 東京都渋谷区 (まんが店舗) 建物 ③ 高尾店 東京都八王子市 (まんが店舗) 建物及び工具器具備品等 ④ 札幌店 北海道札幌市 (カラオケ店舗) 建物 ⑤ 中洲店 福岡県福岡市 (複合カフェ店 建物 舗)</p> <p>(3) 減損損失の金額 建物 79,724千円 工具器具備品 161千円 長期前払費用 4,517千円 差入保証金 3,978千円</p> <p>(4) 回収可能額の算定方法 同左</p> <p>5 減価償却実施額 有形固定資産 342,054千円 無形固定資産 20,665千円</p>



(四半期株主資本等変動計算書関係)

前第1四半期会計期間(自平成18年9月1日 至 平成18年11月30日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期会計期間(自平成19年9月1日 至 平成19年11月30日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

前事業年度(自平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

## (リース取引関係)

平成19年8月期 第1四半期会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前事業年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日																																																												
<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第1四半期会計期間末残高相当額 工具器具備品 取得価額相当額 1,599,646千円 減価償却累計額相当額 751,436千円</p> <hr/> <p>第1四半期会計期間末残高相当額 848,210千円</p> <p>②未経過リース料第1四半期会計期間末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>326,107千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>668,564千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>994,671千円</td></tr> </table> <p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>支払リース料</td><td>89,954千円</td></tr> <tr><td>減価償却費相当額</td><td>100,072千円</td></tr> <tr><td>支払利息相当額</td><td>9,825千円</td></tr> </table> <p>④減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>⑤利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p> <p>(2) オペレーティング・リース取引 (借主側)</p> <table border="0"> <tr><td>未経過リース料</td><td></td></tr> <tr><td>1年内</td><td>78,000千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>169,000千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>247,000千円</td></tr> </table>	1年内	326,107千円	1年超	668,564千円	合計	994,671千円	支払リース料	89,954千円	減価償却費相当額	100,072千円	支払利息相当額	9,825千円	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	169,000千円	合計	247,000千円	<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第1四半期会計期間末残高相当額 工具器具備品 取得価額相当額 1,552,315千円 減価償却累計額相当額 846,048千円</p> <hr/> <p>第1四半期会計期間末残高相当額 706,267千円</p> <p>②未経過リース料第1四半期会計期間末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>473,111千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>256,842千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>729,953千円</td></tr> </table> <p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>支払リース料</td><td>88,816千円</td></tr> <tr><td>減価償却費相当額</td><td>80,196千円</td></tr> <tr><td>支払利息相当額</td><td>6,131千円</td></tr> </table> <p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p> <p>⑤利息相当額の算定方法 同左</p> <p>(2) オペレーティング・リース取引 (借主側)</p> <table border="0"> <tr><td>未経過リース料</td><td></td></tr> <tr><td>1年内</td><td>78,000千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>91,000千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>169,000千円</td></tr> </table>	1年内	473,111千円	1年超	256,842千円	合計	729,953千円	支払リース料	88,816千円	減価償却費相当額	80,196千円	支払利息相当額	6,131千円	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	91,000千円	合計	169,000千円	<p>(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)</p> <p>①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 工具器具備品 取得価額相当額 1,598,942千円 減価償却累計額相当額 820,442千円</p> <hr/> <p>期末残高相当額 778,499千円</p> <p>②未経過リース料期末残高相当額</p> <table border="0"> <tr><td>1年内</td><td>431,531千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>372,849千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>804,380千円</td></tr> </table> <p>③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table border="0"> <tr><td>支払リース料</td><td>355,648千円</td></tr> <tr><td>減価償却費相当額</td><td>320,540千円</td></tr> <tr><td>支払利息相当額</td><td>33,490千円</td></tr> </table> <p>④減価償却費相当額の算定方法 同左</p> <p>⑤利息相当額の算定方法 同左</p> <p>(2) オペレーティング・リース取引 (借主側)</p> <table border="0"> <tr><td>未経過リース料</td><td></td></tr> <tr><td>1年内</td><td>78,000千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>110,500千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>188,500千円</td></tr> </table>	1年内	431,531千円	1年超	372,849千円	合計	804,380千円	支払リース料	355,648千円	減価償却費相当額	320,540千円	支払利息相当額	33,490千円	未経過リース料		1年内	78,000千円	1年超	110,500千円	合計	188,500千円
1年内	326,107千円																																																													
1年超	668,564千円																																																													
合計	994,671千円																																																													
支払リース料	89,954千円																																																													
減価償却費相当額	100,072千円																																																													
支払利息相当額	9,825千円																																																													
未経過リース料																																																														
1年内	78,000千円																																																													
1年超	169,000千円																																																													
合計	247,000千円																																																													
1年内	473,111千円																																																													
1年超	256,842千円																																																													
合計	729,953千円																																																													
支払リース料	88,816千円																																																													
減価償却費相当額	80,196千円																																																													
支払利息相当額	6,131千円																																																													
未経過リース料																																																														
1年内	78,000千円																																																													
1年超	91,000千円																																																													
合計	169,000千円																																																													
1年内	431,531千円																																																													
1年超	372,849千円																																																													
合計	804,380千円																																																													
支払リース料	355,648千円																																																													
減価償却費相当額	320,540千円																																																													
支払利息相当額	33,490千円																																																													
未経過リース料																																																														
1年内	78,000千円																																																													
1年超	110,500千円																																																													
合計	188,500千円																																																													

平成19年8月期 第1四半期会計期間 自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日	平成20年8月期 第1四半期会計期間 自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日	前事業年度 自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日																																																												
<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引（貸主側）</p> <p>①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び第1四半期会計期間末残高</p> <table> <tr><td>工具器具備品</td><td></td></tr> <tr><td>取得価額</td><td>53,309千円</td></tr> <tr><td>減価償却累計額</td><td>12,594千円</td></tr> <tr><td>第1四半期会計期間末残高</td><td>40,714千円</td></tr> </table> <p>②未経過リース料第1四半期会計期間末残高相当額</p> <table> <tr><td>1年内</td><td>13,152千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>30,954千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>44,106千円</td></tr> </table> <p>③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table> <tr><td>受取リース料</td><td>4,900千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>3,493千円</td></tr> <tr><td>受取利息相当額</td><td>1,954千円</td></tr> </table> <p>④利息相当額の算定方法</p> <p>リース料総額と見積残存価額の合計額からリース物件の取得価額を控除した額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p>	工具器具備品		取得価額	53,309千円	減価償却累計額	12,594千円	第1四半期会計期間末残高	40,714千円	1年内	13,152千円	1年超	30,954千円	合計	44,106千円	受取リース料	4,900千円	減価償却費	3,493千円	受取利息相当額	1,954千円	<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引（貸主側）</p> <p>①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び第1四半期会計期間末残高</p> <table> <tr><td>工具器具備品</td><td></td></tr> <tr><td>取得価額</td><td>70,169千円</td></tr> <tr><td>減価償却累計額</td><td>29,942千円</td></tr> <tr><td>第1四半期会計期間末残高</td><td>40,227千円</td></tr> </table> <p>②未経過リース料第1四半期会計期間末残高相当額</p> <table> <tr><td>1年内</td><td>20,608千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>24,733千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>45,342千円</td></tr> </table> <p>③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table> <tr><td>受取リース料</td><td>6,831千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>4,746千円</td></tr> <tr><td>受取利息相当額</td><td>2,353千円</td></tr> </table> <p>④利息相当額の算定方法</p> <p>同左</p>	工具器具備品		取得価額	70,169千円	減価償却累計額	29,942千円	第1四半期会計期間末残高	40,227千円	1年内	20,608千円	1年超	24,733千円	合計	45,342千円	受取リース料	6,831千円	減価償却費	4,746千円	受取利息相当額	2,353千円	<p>(3) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引（貸主側）</p> <p>①リース物件の取得価額、減価償却累計額及び期末残高</p> <table> <tr><td>工具器具備品</td><td></td></tr> <tr><td>取得価額</td><td>70,169千円</td></tr> <tr><td>減価償却累計額</td><td>25,195千円</td></tr> <tr><td>期末残高</td><td>44,973千円</td></tr> </table> <p>②未経過リース料期末残高相当額</p> <table> <tr><td>1年内</td><td>19,476千円</td></tr> <tr><td>1年超</td><td>30,344千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>49,820千円</td></tr> </table> <p>③受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額</p> <table> <tr><td>受取リース料</td><td>22,831千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>16,094千円</td></tr> <tr><td>受取利息相当額</td><td>8,738千円</td></tr> </table> <p>④利息相当額の算定方法</p> <p>同左</p>	工具器具備品		取得価額	70,169千円	減価償却累計額	25,195千円	期末残高	44,973千円	1年内	19,476千円	1年超	30,344千円	合計	49,820千円	受取リース料	22,831千円	減価償却費	16,094千円	受取利息相当額	8,738千円
工具器具備品																																																														
取得価額	53,309千円																																																													
減価償却累計額	12,594千円																																																													
第1四半期会計期間末残高	40,714千円																																																													
1年内	13,152千円																																																													
1年超	30,954千円																																																													
合計	44,106千円																																																													
受取リース料	4,900千円																																																													
減価償却費	3,493千円																																																													
受取利息相当額	1,954千円																																																													
工具器具備品																																																														
取得価額	70,169千円																																																													
減価償却累計額	29,942千円																																																													
第1四半期会計期間末残高	40,227千円																																																													
1年内	20,608千円																																																													
1年超	24,733千円																																																													
合計	45,342千円																																																													
受取リース料	6,831千円																																																													
減価償却費	4,746千円																																																													
受取利息相当額	2,353千円																																																													
工具器具備品																																																														
取得価額	70,169千円																																																													
減価償却累計額	25,195千円																																																													
期末残高	44,973千円																																																													
1年内	19,476千円																																																													
1年超	30,344千円																																																													
合計	49,820千円																																																													
受取リース料	22,831千円																																																													
減価償却費	16,094千円																																																													
受取利息相当額	8,738千円																																																													

(有価証券関係)

前第1四半期会計期間末（平成18年11月30日現在）

子会社株式で時価のあるものはありません。

当第1四半期会計期間末（平成19年11月30日現在）

子会社株式で時価のあるものはありません。

前事業年度末（平成19年8月31日現在）

子会社株式で時価のあるものはありません。

(1株当たり情報)

四半期連結財務諸表を作成しているため、1株当たり情報は記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。